

東海大学 がん看護・緩和ケア研究会

5月の事例

A氏は直腸がんで腹会陰式直腸切断術を受け、人工肛門を造設した。

一生懸命、術後のリハビリに励んでいたものの、合併症を併発し再手術が決定された。

「リハビリをしても意味がない」

A氏はその日から部屋に閉じこもり、会話もままならず、表情も暗い。

明るく前向きに頑張っていたA氏に何が起きたのか？ どのように関わればいいのか？

危機モデルを用いて、事例を分析します。

- 開催日時：2014年5月10日（土）13:00～16:00
- 場所：東海大学伊勢原キャンパス 3号館1階会議室
- アクセス：小田急線『伊勢原駅』下車
徒歩20分またはバス10分(東海大学病院下車)
- お問い合わせ：tokai.gankango@gmail.com
- 資料代として200円をご準備ください。